

Cardiovascular Catheterization Using New Antiseptic Agent Olanexidine Gluconate

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 貴宏 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002592

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2323 号

Cardiovascular Catheterization Using New Antiseptic Agent Olanedine Gluconate

新しい消毒薬オラネキシジングルコン酸塩を用いた心血管カテーテル検査と治療

松本 貴宏 (まつもと たかひろ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、Olanedine®が心血管カテーテル検査と治療時の消毒液として大変有用で安全である可能性を初めて示唆した臨床上に意義ある論文である。心血管カテーテル検査と治療時の消毒液として古くから povidone iodine (PI)が使用されているが、アナフィラキシーショック、甲状腺機能異常や熱傷を生じた報告や、術後、色素を拭き取る必要があること、白衣に付着したPIの除去は大変困難である等などの短所があることから2015年9月に消毒薬であるオラネキシジングルコン酸塩 (Olanedine®)を用いた心血管カテーテル検査と治療の有用性と安全性について検討している。2018年3月から2019年9月で心血管カテーテル検査と治療時にOlanedine®で消毒を行った連続1001名を対象としており、軽度の皮疹が1例のみに生じた以外の有害事象は生じず、血液検査でも異常なく、血液透析患者、エタノール消毒液禁忌例も問題なかったこと、さらにOlanedine®は色素がないため術後に拭き取る必要がなく、衣服を変色させなかったことも報告している。考察においては最適な消毒方法は未だに確立されていないことを承知した上で、術前の消毒薬としてPIだけでなく他の消毒液の特徴を文献を用いて対比しながら、Olanedine®についてはグラム陽性菌やグラム陰性菌を含む広範な細菌に対する抗菌活性があり、アナフィラキシーショックなどの報告もないという消毒液としての優れた特徴を挙げている。以上からOlanedine®は心血管カテーテル検査と治療時の消毒液として大変有用で安全である可能性があることを初めて報告したものとなっている。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。